

若草中学校区新小学校開校準備委員会 第8回

1. 日 時：令和7年11月27日（木）18：00～20：00
2. 場 所：佐保地域ふれあい会館
3. 参加者：委員 出席22名 欠席5名 オブザーバー1名 傍聴2名
奈良市教育委員会から3名（教育政策課）

4. 内 容

【1】 会長より（挨拶及び前回会議録の確認）

- ・ 11月26日に新校舎の工事現場を見学してきた。順調に進んでおり、基礎工事はほとんど完了していた。思い入れのある建物が仕上がるんだろうという思いで見学してきた。
- ・ 開校準備委員会の発足時から色々な出来事があったが、奈良市の自治連合会から「2つの小学校を統合して新小学校を建設することは、子供たちのためであることは明らかである。」と強いメッセージを発信いただき、我々も積極的に進めていかなければならないという思いになった。
- ・ 議事録にもあるが、統合再編は子どもたちの教育環境を良好にし、夢と希望を抱く特別な事業であるということとを今一度強く認識いただきたい。

【2】 教育委員会からの連絡（教育政策課）

- ・ 10月10日に鼓阪小学校の保護者に対してスクールバスなど通学に関する説明会を行った。その中で、保護者からスクールバスの乗降時の見守りについて不安の声があった。
- ・ 開校に向けて見守り体制が整うよう皆様のお力添えをいただきたい。

【3】 新小学校の校名候補選定について

（校名募集の結果と絞り込み経緯、最終候補選定の方法について）

- ・ 10月1日から11月15日にかけて校名を募集し、317人の方から140パターンの校名の応募があった。今回の開校準備委員会で最終候補3案を絞りこむ。
- ・ 3つの最終候補を選ぶにあたり、これだけの数の校名案をこの場で一から絞り込むのは困難であるとの考えから、11月21日に会長、副会長など数名の委員で12の校名案に絞り込みを行った。12の校名案の内訳は「応募数の多いもの」8件、「理由など総合的に良いと思われるもの」4件を選んでいる。その作業の中で、住民、児童など応募いただいた人の思いが入ったものであることを痛感した。特に小学校低学年の子供がそこまで思っ
て校名案に応募しているという部分も見えた。
- ・ 最終案を3つに絞り込んだ後はどうなるのか。
→佐保小学校と鼓阪小学校の児童に、理由も含めて3つの案を提示し投票してもらう。その結果を改めて開校準備委員会で確認・決定し、教育委員会に報告する。
- ・ 最終案の3つの候補に優劣は付けるのか。
→3つの案は同列である。

（校名選定に関する議論）

- ・ 12の校名案の中には「佐保小学校」や「鼓阪小学校」といった既存の校名も含まれているが、投票数で上位であったことから今回候補に挙げている。
- ・ 子どもたちに投票させる最終候補に既存の校名は入れるべきではないのではないか。鼓阪の子どもは「鼓阪」と書き、佐保の子どもは「佐保」と書くなどの分断が生まれるのでは。

- ・ 「鼓阪小学校」を新小学校の校名とする投票数は確かに多いが、子どもで投票しているのは1人である。ほとんどは理由を見て分かるように大人が「廃校反対」と書いている。
- ・ 候補に「一条小学校」とあるが、奈良市には一条高校や附属中学校があって附属の小学校と間違えられるのではないかな。
- ・ 「まほろば小学校」については令和11年4月に田原本町で開校する新小学校と同じ名前である。
→奈良市ではないので問題ないのではないかな。
- ・ 「やすらぎ小学校」の由来のやすらぎの道は両方を分断する道ではないかな。
→これは小学校1年生の案で、「両地域の子供たちがやすらげる場所であるように」「やすらぎの道は両地域の真ん中にある道だから」という理由で提案してくれている。
- ・ 「桜花」は戦時中の特攻兵器を連想させ、あまり好ましくないのではないかな。
- ・ 漢字の「若草」を候補とするならば、ひらがなの「わかくさ」は候補から外してはどうか。
→保護者の間では「中学校は漢字だから小学校はひらがなだ」といった声もある。
→若草（わかくさ）などとして両方候補としてはどうか。

（最終3案選定投票）

- ・ 各委員により12案の中から新しい学校の校名にふさわしいと思う3案を投票。
- ・ 「若草」と「わかくさ」を区別して投票してもらい、合算して「若草（わかくさ）」の得票数とした。
- ・ 投票の結果「若草（わかくさ）」22票、「佐保」0票、「鼓阪」0票、「まほろば」11票、「佐保鼓阪」0票、「保阪」0票、「一条」3票、「法蓮」13票、「やすらぎ」11票、「翼（つばさ）」6票、「桜花」0票であった。
- ・ 「まほろば」と「やすらぎ」が同票となったが、委員による多数決で両方を最終候補とすることに決定した。
- ・ 最終候補は「若草（わかくさ）」「法蓮」「まほろば」「やすらぎ」の4案に決定した。
- ・ 児童にも同様に「若草」と「わかくさ」を区別して投票してもらい、合算して得票数として他の3候補と競わせ、最多得票になった場合には漢字表記、ひらがな表記のうち得票数の多かった方を新しい小学校の校名とすることになった。

（最終候補4案の児童への提示について）

- ・ 両校の児童に対し、最終候補4案を選定の理由も含めて提示する必要がある。
- ・ 選定の理由については佐保・鼓阪両校長により、選定者の意図が変わらない範囲で児童へ伝わりやすい工夫したものを作成し、会長・副会長にも確認いただいた後、児童にアンケートを開始する。
- ・ 1、2年生には紙で配布し、それ以上の学年は各自の端末を利用して回答してもらおうと考えている。
- ・ 投票しない権利もある。記名、無記名は学校で決めさせていただきたい。（佐保・鼓阪で足並みは揃える）
- ・ 1月の中旬までに児童にアンケートを取って、次回の開校準備委員会で結果を報告する。

次回：令和8年1月29日（木）午後6時より 於佐保地域ふれあい会館

新しい学校づくりのお問い合わせ先：奈良市教育委員会事務局教育政策課 TEL0742-34-5386